

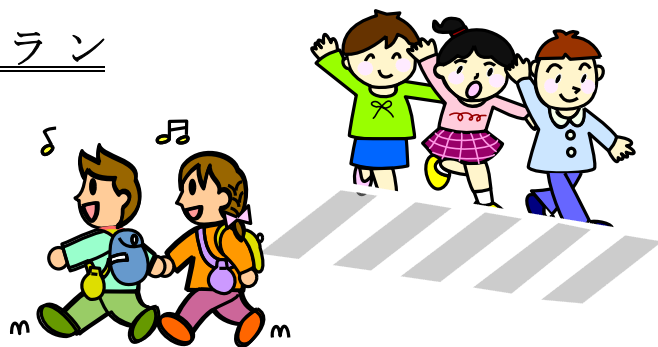
# レ ス ス プ ラ ン

3 学年 第 1 回 (自己理解)

テーマ : 「つながってるね、わたしたち」

授業の目標 :

- (1) 自分と他者には相違があることを認識する
- (2) 相違はあってもお互い、それぞれが他者との関わりの中で暮らしていることに気づく



用意するもの :

ALT

担当教師

- 絵本「ものまねカメレオン」<紙芝居仕立て>
- 魚のウロコ [紙製] (生徒人数分)
- 魚の頭、尾、ヒレの部分と模造紙

- 事前に子どもたちに色鉛筆またはクレヨンを持って来るように指示
- 掲示用セロテープ

時間	活 動	気づいた点
3分	挨拶後、 <b>担当教師</b> は子どもたちに自分たちが他者とは異なることをどういう場合に確認できるか聞いてみる。 <b>ALT</b> はその後、本時のねらいを言う。	
20分	<b>ALT</b> と <b>担当教師</b> は「ものまねカメレオン」の話を子どもたちに読んで聞かせる。話は紙芝居仕立てで、まず英語で <b>ALT</b> が読み、その後 <b>担当教師</b> が日本語で読む。	
3分	<b>担当教師</b> は子どもたちに話の印象を尋ねる。以下のような内容で質問してもよい。 1)カメレオンはどうして友人のまねをしようとしたのか 2)なぜ友人たちはカメレオンの行動によって気分を害したのか 3)話の最後はどんなことが起きたか 4)なぜ友人たちは最後にカメレオンと遊びたいと思ったか	
18分	<b>ALT</b> と <b>担当教師</b> は活動内容を説明する。それぞれの子どもに魚のウロコの形をしたものを配布する。(ただし、配布されたものが何のためかはこの段階では明かされない) 子どもたちは好きなように思い思い10分間色をぬり飾る。そして、ウロコの真ん中に名前を書き込む。(ALTは活動途中で自分の作ったサンプルを見せる) 子どもたちは完成させた後、 <b>担当教師</b> や <b>ALT</b> の指示を仰ぎながら、自分で模造紙上に自分の作ったウロコをテープで貼っていく。この模造紙は黒板に貼られ、 <b>ALT</b> は尾、頭、ヒレをつけて魚の形を作る。 <b>担当教師</b> は「1つ1つのウロコはちょうど一人ひとりのようなもので、重なり合い、つながり合うことで美しい魚ができあがります。このように私たちはそれぞれが違うけれどみんな関係し合っています。魚は海の中を泳ぎ、人間は社会の中で生きています。自分だけでは生きられません。みんなと一緒にいることによって輝きます。”人” という漢字は元来、人が支え合う様子を字にしたものですが、やはりここでも人は1人では生きられないということを象徴しているように思います。このように、私たちは関わり合っているんです。」など、コメントする。	
1分	<b>担当教師</b> は子どもたちに自分の真の個性を大事に表現する時、人から好かれるし、みんな違うからこそ一緒になると美しく興味深い世界を作ることができることを気づかせる。	